

沼川新放水路の計画

平成25年4月7日

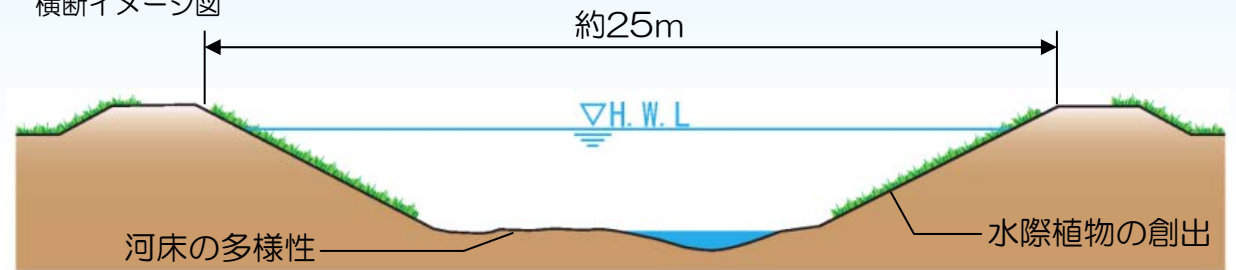
静岡県沼津土木事務所

主要工事の概要（沼川新放水路（仮称））

高橋川分流地点から河口区間においては、 $Q=150\text{m}^3/\text{s}$ の流量を安全に流すことを目的として、高橋川上流の洪水を直接海域へ放流する、新たな放水路を整備する。

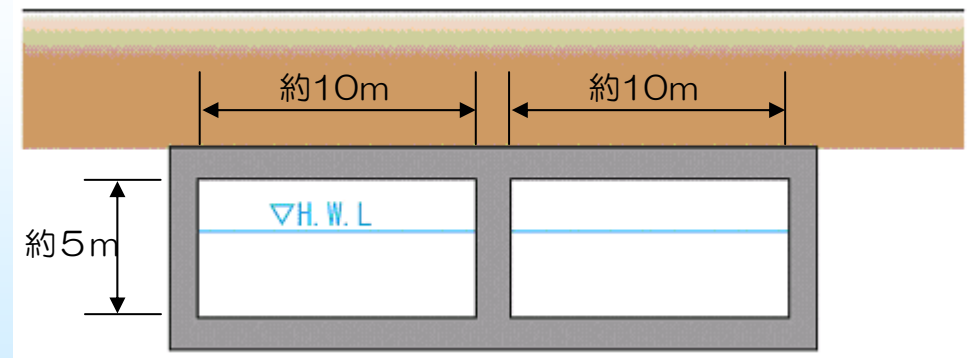


横断イメージ図

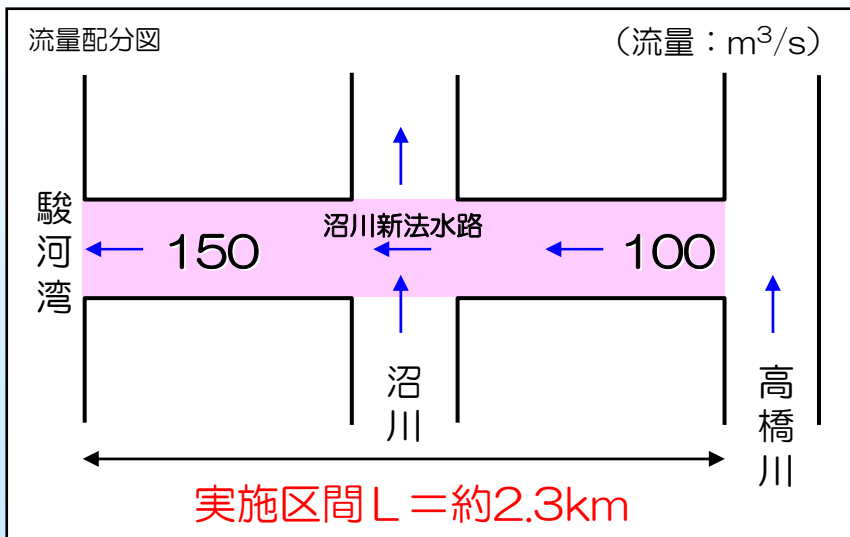


開水路区間（JR東海道線以北）

横断イメージ図



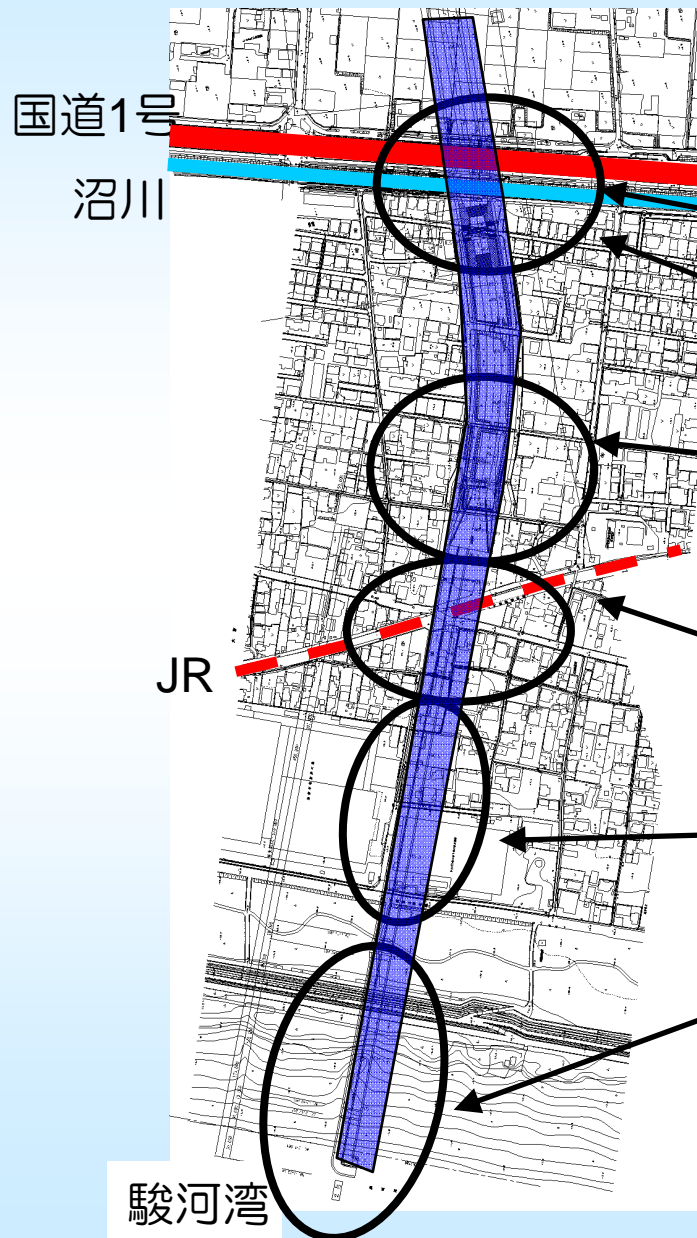
暗渠区間（JR東海道線以南）



注1) 断面形状等については、必要に応じ変更することがある。

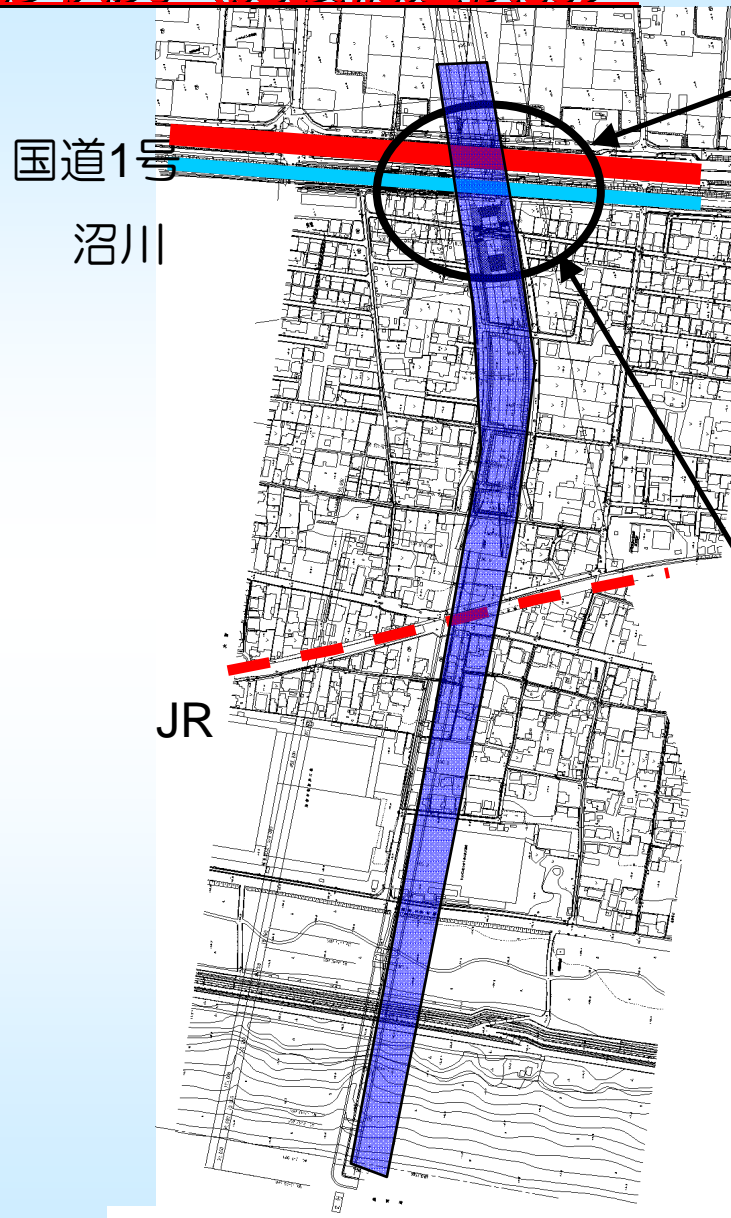
注2) 暗渠区間の構造については、海岸浸食や海岸環境への影響を踏まえ検討し決定する。

進捗状況 (施設構造検討)



- ① 国一交差部
- ② 沼川分合流部構造検討
- ③ 開口部と暗渠部のすり付け区間の構造検討
- ④ JR交差部構造検討
- ⑤ 箱型管渠構造検討
- ⑥ 防潮堤及び放流口部検討

進捗状況 (施設構造検討)



① 国道1号区間

国道1号道路管理者＝国土交通省

- ・ 主要幹線道路（約55,500台/24h）であり通行止めは難しい。
- ・ 工事中通行車両の安全確保が必須。
- ・ 設計・協議には時間を要する。

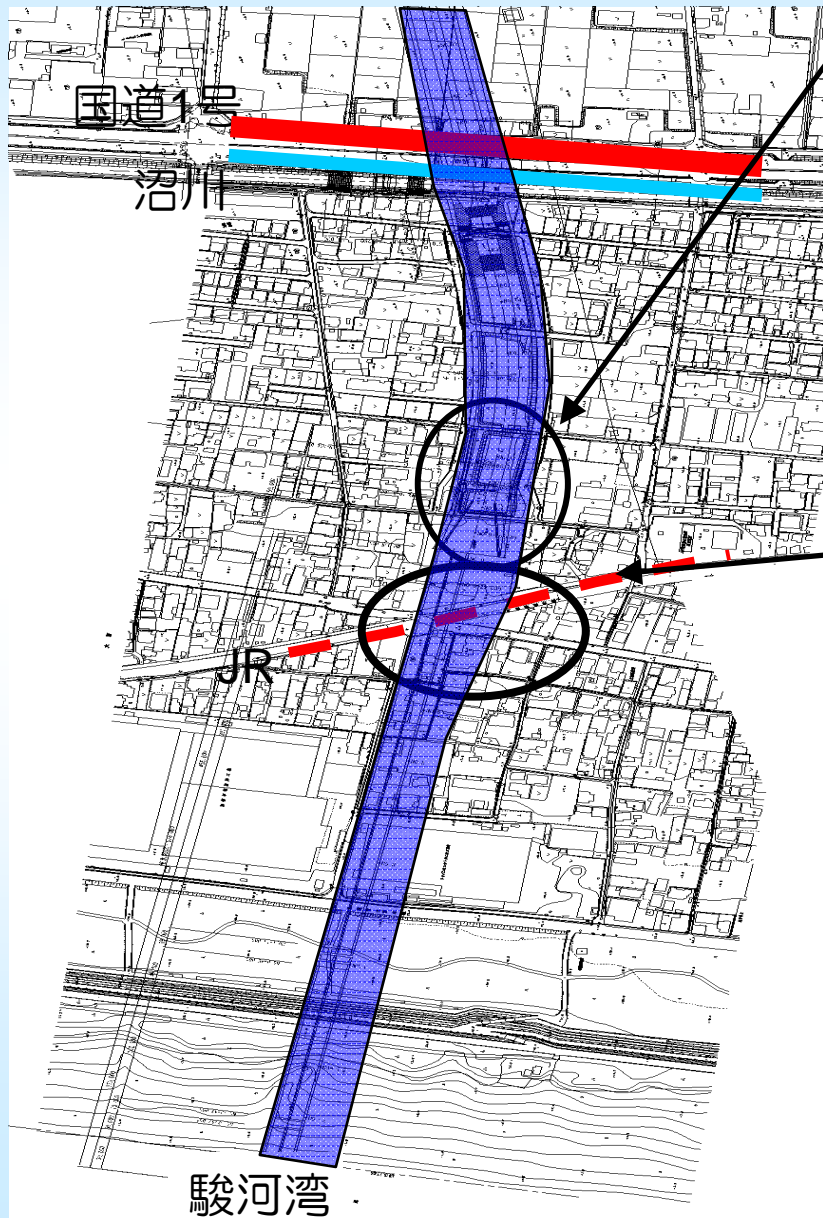
② 沼川本線との合流部

○ 国道1号横断後の沼川との合流

- ・ 洪水時の沼川本川と放水路の合流処理方法
- ・ 合流処理に伴う施設の検討
- ・ 平常時の沼川本川と放水路の流量

駿河湾

進捗状況（施設構造検討）



③開口部と暗渠部のすり付け区間

○構造検討上のポイント

- ・ 開口部からトンネルに接続する箇所の水理現象
- ・ 維持管理方法

④JR交差部

管理者＝東海旅客鉄道(株)

- ・ 住宅が近接する地区のため線路の切回しが困難
- ・ 列車を運行させながらの施工となる
- ・ 列車運行中の安全確保が必須
- ・ 安全確保に配慮した最適な施工方法の検討に時間を要する

進捗状況（施設構造検討）

⑤箱型管渠構造検討

- 周辺建物への影響
 - ・施工時の近接する建物への影響
- 周辺環境への影響
 - ・大規模掘削に伴う地下水など
 - ・電気、ガス等のライフラインへの影響

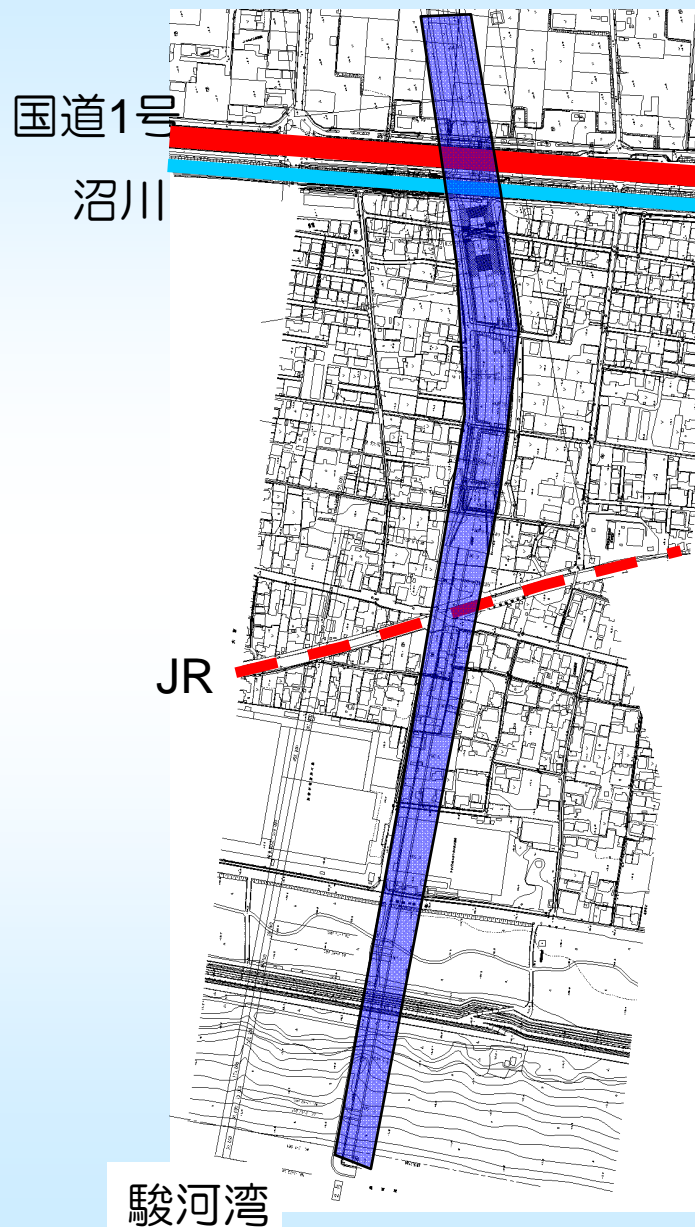
⑥防潮堤交差部

管理者＝国土交通省

- 防潮堤を横断する際の施工方法
 - ・施工時の防災対策
- 構造物設置に伴う影響
 - ・海底地形や砂の移動、浜幅の変動
 - ・津波等防災面
 - ・海洋生態系
- 維持管理
 - ・埋塞対策検討



工事着手までの必要事項



関係者との協議

- ・ 地権者
- ・ 道路管理者
- ・ 鉄道事業者
- ・ 海岸管理者
- ・ ライフライン管理者

構造物設計

- ・ 市道・県道交差部
- ・ 国道1号交差部
- ・ 沼川分流・合流部
- ・ JR交差部
- ・ 防潮堤交差部
- ・ 吐口部

事業用地の取得

- ・ 河川予定地の指定
- ・ 用地測量
- ・ 物件調査
- ・ 補償交渉

進捗状況 (用地・測量・環境調査)



- 地下水等の利用状況調査 (井戸調査)
- 関連工作物等調査
- 河川予定地指定資料作成
- 用地測量、物件調査
- 墳墓調査